

## 第43回東海中学校総合体育大会柔道大会

### 1 期日

令和3年8月6日（金）	午前 11時00分から	受付
	午前 11時20分から 12時20分	団体戦・個人戦計量
	午前 12時30分から 12時50分	団体戦役員審判監督打合せ
	午後 1時00分から	開会式
	午後 1時30分から	団体戦競技
	午後 4時30分から 4時45分	団体戦表彰式(予定)
8月7日（土）	午前 9時15分から 9時45分	個人戦計量／受付
	午前 10時00分から 10時20分	個人戦役員審判監督打合せ
	午前 10時30分から	個人戦会式通告・競技開始
	午後 3時30分から 4時00分	個人戦表彰式/閉会式

### 2 会場

愛知県武道館

〒455-0078 愛知県名古屋市中区丸池町1丁目1-4 電話 052-654-8541 FAX 052-654-8540

### 3 参加人数

- (1) 男子団体戦への参加チームは各県4チームで、計16チームとする。チーム編成は、監督1名、選手7名とする。
- (2) 女子団体戦への参加チームは各県2チームで、計8チームとする。チーム編成は、監督1名、選手4名とする。
- (3) 男子個人戦への参加は体重別8階級、各階級各県4名の32名で、合計128名とする。
- (4) 女子個人戦への参加は体重別8階級、各階級各県2名の16名で、合計64名とする。

### 4 競技上の規定及び方法

#### (1) 試合方法

##### ア 団体戦

- ・ トーナメント方式とする。
- ・ 勝負は、勝数の同じ場合は、内容により決定する。(①「一本」・「反則勝」②「技有」③「僅差」) 内容も同じ場合は「引き分け」とし、任意の選手による代表戦を一回のみ行う。
- ・ チーム編成は、最も体重の重い者を大将とし、以下順次体重順とする。
- ・ 選手の交代は、届出の補欠をもってあてる。この場合も、順次体重順の編成とする。いったん交代した選手は、再び出場できない。
- ・ 試合ごとに選手及び選手の位置の変更はできない。

##### イ 個人戦

- ・ 試合は、トーナメント方式で行う。
- ・ 階級は男女それぞれ次の8階級とする。  
男子： 50kg級 55kg級 60kg級 66kg級 73kg級 81kg級 90kg級 90kg超級  
女子： 40kg級 44kg級 48kg級 52kg級 57kg級 63kg級 70kg級 70kg超級
- ・ 第1日目と2日目に、会場で計量を行う。
- ・ 体重適合しない場合は失格とする。無理な減量はしないようにする。

#### (2) 試合時間

3分間とする。延長戦(ゴールデンスコア)の時間は無制限とする。

#### (3) 判定

審判規定は、国際柔道連盟試合審判規定(2018-2020施行の新ルール)・国内における「少年大会特別規程【全柔連が定める団体戦の勝敗決定方法】」による。

ア 試合時間は、団体戦・個人戦共に3分間とする。延長戦(ゴールデンスコア)は、時間無制限とする。抑え込みのスコアは、技有10秒、一本20秒とする。

イ 試合は、「一本」「技有」「僅差」の内容によって勝者を決定する。

#### ウ 優勢勝ちの判定基準

- ・ 団体試合の個々の試合は、技の評価は「技有」以上とするが、技の評価が同等の場合、

「指導」差が2以上開いたとき、少ない選手を「僅差」の優勢勝ちとする。

「指導」差が1以下の場合、「引き分け」とする。

- ・個人試合及び任意の選手によって行われる団体試合の代表戦は、技による評価が、同等の場合は、「指導」差が2以上開いたとき、少ない選手を「僅差」の優勢勝ちとする。但し、時間内に勝敗が決しない場合は、時間無制限のゴールデンスコア方式によって勝敗を決する。

※ゴールデンスコア方式とは、先に「技有」以上の技による評価を得た試合者が、勝ちとなり、「指導」を取られ、相手よりも指導の数が多くなった試合者が負けとなる。

### 5 参加校・参加者の選出方法

各県中学校総合体育大会（県大会）を予選とする。

### 6 参加資格

第43回東海中学校総合体育大会実施要項9項による。

### 7 参加料

(1) 参加選手〔大会申込書に記入された選手〕一人につき2,000円とする。

※ 団体戦と個人戦の両方に出場する場合も、2,000円とする。

(2) 参加料は、各県の専門部に申込書原本とともに提出する。

### 8 表彰

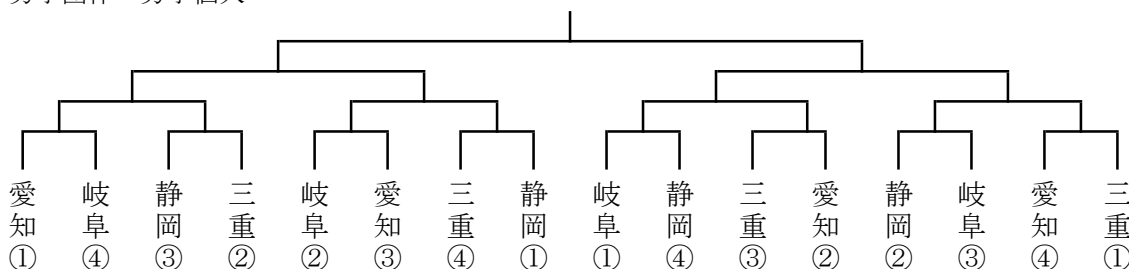
第43回東海中学校総合体育大会要項11項による。

### 9 申込方法

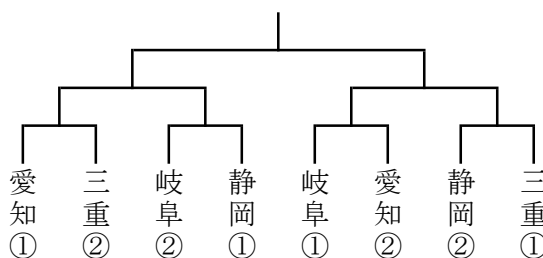
第43回東海中学校総合体育大会要項12項による。

### 10 組合せ

(1) 男子団体・男子個人



(2) 女子団体・個人



布地は白（晒・白綾）とする。大きさは、横30～35cm、縦25～30cmとする。

名字を上2/3、学校名を下1/3に記入する。

字体は太字ゴシック体（明朝体、楷書体でもよい）とする。男子は黒色、女子は赤色とする。

縫い付けの場所は、後ろ襟から5～10cm下部の所で、対角線にも強い糸で縫いつける。

女子は、白色又は白に近い色の半袖で無地のTシャツ又はレオタードを着用しなければならない。

※Tシャツのマーキングについては、全日本柔道連盟が定める規定（平成25年4月1日より施行）に準ずる。

(3) 絞め落ちについて

いわゆる「絞め落ち」となった選手は、その後の一連の試合に出場することはできない。

(4) 会場利用等に関わる案内は、各県委員長を通じて行う。